

地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業

【学校を核とした地域力強化プランの一部】

令和5年度要求・要望額 8百万円
(前年度予算額 8百万円)



背景・課題

「キャリアプランニングスーパーバイザー（CPSV）」を都道府県に配置し、地元企業等と連携した職場体験やインターンシップ及び地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元就職し地域を担う人材を育成する。

【参考】

◇デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日閣議決定）

第3章 1. (3) ② ii (f) 地域を支える人材の育成の推進

児童生徒がより地元企業への愛着や理解を深められるよう、地元企業等と連携した職場体験やインターンシップを促進する等、小中高等学校を通じたキャリア教育を推進する。

事業内容

「キャリアプランニングスーパーバイザー（CPSV）」を教育委員会等に配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元就職し地域を担う人材の育成を図る。
(令和3年度実績 配置人数22人)

【CPSVの業務内容】

- 小・中・高等学校を通じ、地元への理解や愛着を深めるキャリア教育の推進
- 職場体験やインターンシップの受入れ先の開拓及び学校と企業等とのマッチング
- 教職員及び学校に配置された外部人材への支援・相談・情報提供
- 生徒へのキャリアカウンセリングや企業の情報提供などの就労支援
- 高校や地域若者サポートステーション等と連携し、中退者や高校卒業後早期離職した者等への就労支援



(例・地域におけるキャリア教育推進のための協議会)

対象校種 小学校、中学校、高等学校等

実施主体 都道府県、市区町村

補助割合 補助率（国：1/3 県市：2/3）

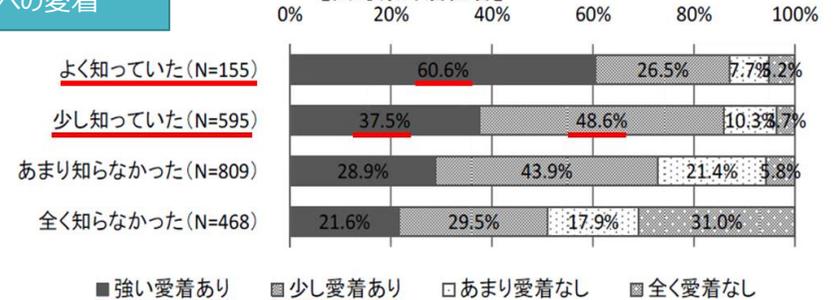
補助対象経費 諸謝金、旅費等

(参考) 出身市町村へのUターン希望状況

出身市町村への愛着

－高校時代までの地元企業の認知程度別－

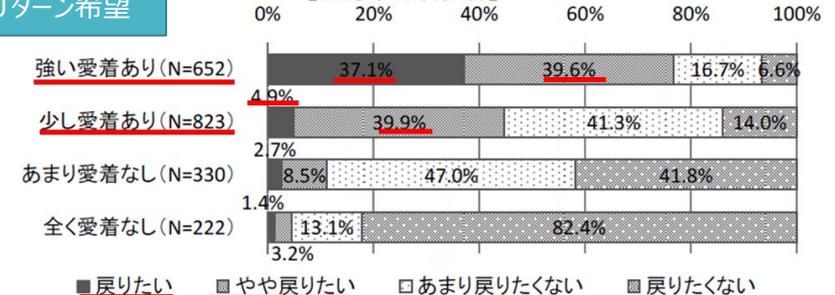
【出身県外居住者】



出身市町村へのUターン希望

－出身市町村への愛着有無別－

【出身県外居住者】



高校時代までに（転出前に）地元企業を知ったことが、転出後も出身地への愛着として残り、Uターン希望につながっていることがうかがえる。

※「地方における雇用創出・人材還流の可能性を探る-（独立行政法人労働政策研究・研修機構）」をもとに作成